

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公開番号】特開2003-204437(P2003-204437A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-337849(P2002-337849)

【国際特許分類】

H 04 N 1/41 (2006.01)

H 04 N 7/30 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/41 B

H 04 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月16日(2005.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

既存の圧縮技法の別の欠点は、ユーザが再構成画像を利用可能な全精細さで観察したいと望めないあるいは望んでいない場合であっても大きなデータファイルを保存、アクセス及び伝送することである。例えば、医用イメージングにおいて、極めて精細な画像を収集し保存することがあるが、画像の観察を希望する放射線医や担当医は、その画像を保存した分解能で表示できるだけの観察ポート(view port)を有していないこともある。したがって、画像全体を遠隔の観察ステーションに伝送することは、比較的時間がかかる操作であって、現実的な恩恵を全く提供しないことがあり、また画像の読み取りや別の使用を遅滞せざることがある。

【特許文献1】米国特許第5014334号